

いっしょに語ろう、もっと話そう。

2020

# 信頼

Vol. 66

中部大学後援会会報

特別企画

ウイルスと  
共に生きる社会を  
考える





# 大学は情報発信を。 保護者の皆様は情報収集を。

中部大学後援会 会長 足立 憲昭 あたち のりあき



平素は後援会活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、今年度は異例の年度初めになりました。6月には緊急事態宣言は解除され、社会経済活動も徐々に再開しましたが、今後しばらくは新しい生活様式に留意しながらの制約のある日々が続くことが予想されます。

今年度の後援会事業は、感染症拡大防止の観点から、5月に行う予定の「役員会・評議員会」を書面開催としました。また、毎年6月から大学会場や地区会場で行っていた「父母との集い」をWEB開催とし、先生方からのメッセージ動画をホームページ上に公開いたしました。

後援会会員の保護者の皆様におかれましては、学内の見学や「父母との集い」での先生方と直接お会いしての交流、相談の機会がなくなりましたこと、また、新入生の保護者の皆様は、入学式が中止になり、残念で不安な日々を過ごされたこととお察しいたします。就職活動中のお子様を持つ保護者の皆様も、例年とは異なる就職活動に戸惑い、心配されていることでしょうか。

保護者は大学に関する情報を欲しています。授業、学生支援、就職支援のことはもちろん、日常生活の不安を払拭するアドバイスなども頂けると助かります。そのため、保護者の

皆様には、大学が発行する印刷物が自宅に届いた際は、ぜひ一読をお願いいたします。また、大学ホームページもご覧になり、ぜひ情報収集に努めていただければと思います。今年度の後援会報「信頼」は特別編集にてお届けいたします。本来、親子間のコミュニケーションツールとしての役割を担う会報ですが、今号は、先生方からのメッセージを受け取っていただくことで、大学理解の一助につなげていただければ幸いです。

また、新入生の保護者の皆様限定で、「新入生の保護者のための中部大学ハンドブック」を同封しています。4年間の大学生活のおおよその流れや成績、単位といった学生生活の基本などを知ることができますので、ぜひご覧ください。

大学は遠隔授業と合わせて、実験・実習科目の授業を順次再開し、キャンパス各所に感染症防止に向けた取り組みを進めていると伺いました。しかし、やはり学生がキャンパスに集い、先生や仲間同士でコミュニケーションをとりながら授業を受けることが大学であり、そうした環境こそが学習する雰囲気をつくり、勉強する意欲にもつながるものだと私は思っています。そのためにも、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願い、中部大生の学びの環境の確保、そして経済活動の一日も早い回復に向け、微力ながら邁進してまいりますので、保護者の皆様、先生や職員の皆様のご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

次再開し、キャンパス各所に感染症防止に向けた取り組みを進めていると伺いました。しかし、やはり学生がキャンパスに集い、先生や仲間同士でコミュニケーションをとりながら授業を受けることが大学であり、そうした環境こそが学習する雰囲気をつくり、勉強する意欲にもつながるものだと私は思っています。そのためにも、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願い、中部大生の学びの環境の確保、そして経済活動の一日も早い回復に向け、微力ながら邁進してまいりますので、保護者の皆様、先生や職員の皆様のご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 02. 特別企画

# ウイルスと共に生きる社会を考える

学長 石原 修 先生      教務部長 大塚 俊幸 先生  
学生部長 花井 忠征 先生      キャリア部長 細川 健治 先生

工学部 創造理工学実験教育科 准教授 大嶋 晃敏      経営情報学部 経営総合学科 教授 寺澤 朝子  
国際関係学部 国際学科 教授 中山 紀子      人文学部 歴史地理学科 准教授 佐々井 真知  
応用生物学部 応用生物化学科 教授 福田 雅夫      生命健康科学部 生命医科学科 教授 伊藤 守弘  
現代教育学部 現代教育学科 講師 伊藤 大幸

- 14. 2020年度 第2回「父母との集いWEB開催」のお知らせ
- 15. 2020年度「役員会・評議員会」報告  
2019年度事業報告／2020年度事業計画／後援会会則／2020年度後援会役員・評議員名簿
- 17. “学び続ける”を支えたいー学生生活サポートー

\*掲載内容は、2020年7月時点のものです。

CONTENTS

## 信頼 Vol. 66



大学開学30周年(1994年)に姉妹校オハイオ大学より寄贈されたロタンダは、キャンパスのシンボルとして、四季折々の自然と共に学生たちを見守っています。





特別企画  
ウイルスと  
共に生きる社会を  
考える

新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンパス内に学生たちが集うことができない異例のスタートとなった2020年度。通常、本会報では、学内でのご子息・ご息女の様子をイメージしていただけるよう、学生たちが学び、躍動する姿をお届けしていましたが、それもできなくなってしまいました。

そこで今号は、特別企画として、「ウイルスと共に生きる社会を考える」というテーマのもと、学長をはじめ4名の先生方に大学の支援体制を語っていただき、また、本学が擁する文理融合7学部の先生方には、各専門分野から社会や日常の変化についてご寄稿をいただきました。

しばらく続くWithコロナの時代に、学生と共にある中部大学を理解する一助として、先生方から保護者の皆様へのメッセージとして受け取っていただきましたら幸いです。





# 新たな 学びの姿勢と 成長に期待

学長 石原修 先生



日頃より中部大学に対するご理解と多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。本学では2月の段階で、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、学園全体が一丸となって取り組む体制を整えました。以来、授業運営や修学支援、学内における学生の許容人数、感染防止対策などさまざまなことを話し合い、その間、私は学生とコンタクトを取りたい思いで、「学長ブログ」を更新し、発信し続けました。5月7日からは遠隔授業を開始し、6月1日には感染防止対策を取りながら一部対面授業を再開。現在では、段階的にさまざまな活動の制限を解除しています。

遠隔授業では、教員が配信した課題に学生が返信を繰り返すことで、勉強の習慣が身についたという声を聞きました。また、このコロナ禍で教員も学生も学びに対する姿勢が変わってきていると感じます。「授業」という言葉には、教員が学生に知識を「授ける」という一方の語感がありますが、遠隔授業では、教員はもちろん、学生も前もって準備し、講義の後で内容を咀嚼し、じっくり考察する必要があります。これは対面授業でも当てはまることですが、教員からの一方的な「授ける授業」から、教員と学生がお互いの信頼関係の中で、ともに主体的に関わる教育へ変わりつつあると思います。また、当たり前にあった対面授業の価値も再認識できました。

保護者の方に、桜が咲き、若葉が萌えるとても良い季節のキャンパスを見ていただけなかったことは残念ですが、やはり学生にとっては、仲間と会えなかったことが大きな衝撃だったと思います。しかし、この経験によって、仲間やキャンパスの重要性などあらためて気づくこともあるでしょう。私の学生時代もちょうど全共闘の大きなうねりがあったときで、1年近く授業を受けられなかったことを思い出しました。しかし、後から振り返れば、あのときにいろいろなことを考えたことが今の自分をつくっている気がします。今でも当時の仲間と毎年集まるほどで、共有した困難が特別なつながりを形成したのかもしれない。まとまった時間の中で考えたことは、心の奥深くに何かを残すはずです。大学に通学できるようになり、専門分野を学び始めたとき、他の分野も学びたいと思う学生がいるかもしれません。そんなときに総合大学である本学では文理融合の学びができます。コロナ禍で一人で考えたことを、同じ時間を過ごした仲間と話し合えば、こんなにも考え方が違うものかと気づき、多様性を感じられるのも総合大学のメリットです。さらに、対策本部を立ち上げた時もそうでしたが、本学には医師や感染症専門の教員がいます。さまざまなシミュレーションや感染者を確認したときの対処法など、幅広いアドバイスをいただけるのは総合大学の強みです。

今後也十分な対策を取って授業を行うとともに、専門の勉強や、課外活動、友人や先生との出会いを通して、皆様方のご息ごい息女が、人間として大きく成長するための教育環境をさらに整えていきます。

学内の  
お気に入り  
SPOT

## 洞雲亭

高層の建物が立ち並ぶキャンパス内にありながら、和の風情を楽しめる茶室。庭園で池を眺めていると、自然と心が落ち着きます。



## PROFILE

テネシー大学大学院工学研究科電気工学専攻博士課程修了。専門分野はプラズマ物理。趣味はテニス。結婚式で友人からもらったラケットのプレゼントが始めるきっかけ。休日には夫婦でテニスを楽しむ。最近は大内川までウォーキングも。



# 安心して学修できる環境整備を

教務部長 大塚 俊幸 先生



例年、新年度を迎える直前に行う新2、3、4年生対象のオリエンテーションは、3月末にどうにか行うことができました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月の入学式と新入生向けのオリエンテーションは中止となり、また、春学期の授業開始は約1カ月遅れの5月7日から全面的に遠隔でのスタートになりました。

この遠隔授業は、大きく分けて「オンデマンド型」と「同時双方向型」の2つの方法で行っています。オンデマンド型は、教員が配信した教材を学生がダウンロードし、自分の都合の良い時間帯に学修するもの。一方、同時双方向型の授業は、Zoomなどのオンライン会議のツールを用いてリアルタイムで行うものです。これらの遠隔授業を中部大学では、いくつかの学習管理システムを使用して行っています。当初は、教員と学生、不

慣れな者同士のスタートのため戸惑いもありましたが、今ではスムーズに行えるようになりました。また、中には履修登録をした学生全員へ一斉にメールを配信できるシステムがあるため、そのシステムを使って質問に答えたり、提出された課題にコメントを返したりして授業を行っている教員もいます。その場合、必然的に教員と学生が1対1の関係となり、教員とマンツーマンで自分のペースで学修ができるようになったという声や、また、今まで単に授業に出席すれば良いと考えていた受け身の学生も、課題の提出と教員からのフィードバックのやりとりを繰り返すことで、双方向性を確保できたというプラスの効果も生まれています。

6月1日から、一部の実験・実習・実技科目において対面授業を再開しました。

3密にならないように少人数のクラスに分割したり、座席の間隔を空けたりして、完全に配慮しながら実施しています。緊急事態宣言が解除され、さまざまな制限が段階的に緩和されていますが、依然として全国各地で感染者が報告され、予断を許さない状況です。学生の中には、対面での授業を早く受けたという声がある一方、時期尚早だという声もあります。学生の間でも現在の状況に対する認識や考え方には温度差があるのが実状です。さまざまな思いがありますが、大学としては、不安を抱えている学生に対面授業への出席を強要することがあつてはならない、と考えています。そうした学生には、別途課題を提出することで出席に代えるなどの対応を各科目の担当教員にお願いしています。大事なことは、学生の気持ちに寄り添い、無理をさせないこと。保護者の皆様も、ご子息・ご息女が不安を感じているようであれば、先生に相談してみたらと一声かけていただければと思います。

学内の  
お気に入り  
SPOT

## 大学から見る 街並み

25号館や不言実行館、1号館など各所から見る名古屋の街並み。写真は1号館から。1号館前の枝垂れ桜や立体駐車場近くの早咲きの桜も好きです。

PROFILE

名古屋大学大学院環境学研究科博士後期課程社会環境学専攻修了。専門分野は都市地理学、都市政策。趣味は外へ出かけること。歴史的な街並み、緑豊かな田園風景、何気ない路地など、どこへ行っても撮影のためにすぐ足を止めてしまうほど。



# 活動範囲は 工夫して広げ 他者に配慮を

学生部長 花井 忠征 先生

本学の新型コロナウイルス感染症に伴う経済的な支援について一部説明します。5月6月にかけて、遠隔授業の受講に必要なインターネット環境や学修環境の整備を目的に、「学修環境整備充実支援金」として、全学部生・大学院生に一律5万円を支給しました。また、家計が急変した学生に対して、「50万円を上限に無利息で貸与する奨学金」を秋学期の学費納入に向けて準備しています。さらに、春学期からのバス通学に備えて定期券を購入した学生には、秋学期も使えるように通学期間を2021年3月31日まで延長し、秋学期に使うことがない学生には払い戻しを行いました。また、一部対象者の春学期の学費納入期限を延長しました。

次に課外活動ですが、2月時点では大学としては、感染症拡大防止の対策を講じた活動の要請を行い、4月の緊急事態宣言発



令に伴い4月9日から5月31日まで全ての課外活動の中止を指示しました。その後は、6月1日に一律の中止を解除しましたが、長期の活動中止に伴い体力の低下が懸念されるため、最初の2週間は急激な運動を避けるようお願いをしました。また7月4日には、合宿、遠征を解禁し、徐々に通常の活動に戻ってきています。ただ、一部音楽系の密閉になりがちな部屋は継続的に使用を中止しています。不便をかけるとは思いますが、引き続き社会状況を見て対応していきますのでご理解いただければと思います。

春学期には例年、さまざまな行事を行っていましたが、中止せざるを得ない状況になり、中には大学創立時から実施してきた伝統行事「フレッシュマンキャンプ」が初めて中止になる事態も起きています。しかし、こうした状況を不安がっている方もありません。

ワクチンや治療薬がない今、確かに感染症は不安ですが、ウイルスとどう向き合っていくかという点では、新しい生活様式と表現されているように、かからない・うつさない行動を続けていく中で、自分の活動範囲を最大限どうつくっていくかが大事だと思っています。決して部屋に籠っていないささいなものでもありません。自分に規制をかける中でも、やるべきことをやるような環境を自ら工夫してつくっていくことが、このwithコロナ社会には必要です。感染症拡大時のスタイルに戻しては感染爆発を起こしかねません。大学生であっても社会の一員としてきちんと社会情勢を見極めた上で行動すること、自ら防衛し、他者のことを考えた行動をすることが大切です。

最後に保護者の皆様へお願いです。大学として第一に挙げているのは学生の安全安心な学生生活です。これに関してはしっかりとアテンションを張り、今一番良い選択は何かを考えて対応していますので、ご理解をお願いいたします。また、それぞれ家庭の事情もあると思いますが、まずは学生たちが学業に専念できるように支援をしていただければ幸いです。国や自治体の緊急対応措置としての奨学金など、必要であればお調べいただければと思います。大学は、引き続き社会状況を見ながら、学生生活・学内環境の安全安心を確保していきます。

学内のお気に入りSPOT

## 70号館から見た ロタンダ

現代教育学部棟の70号館から見た雪の積もった日の朝に見るロタンダ。朝早くに誰も足を踏み入れていない雪景色は実に見事です。



PROFILE

日本体育大学大学院体育学研究科修士課程修了。専門分野は体育学(発育発達学、測定評価学、幼児体育学)。趣味はスキー。スキー連盟、日体協のA級検定員、上級教師・指導員などの資格を持ち、スキーの普及に貢献してきたが、昨年第一線からは引退。



# 企業と接点を持つ機会を豊富に

キャリア部長 細川 健治 先生



入学直後から卒業まで4年間を通じたキャリア開発を支援しているキャリア支援課。現4年生を対象に、3年次の4月から3月までの1年間を通して、全10回にわたる「就職ガイダンス」を開催してきました。就職戦線本番前の2月には、就活ルールの撤廃により企業の採用活動が早まる傾向にあることを踏まえ、「学内業界研究会」と称した企業と学生が直接会える機会を設けました。新型コロナウイルス感染症の影響により、13日間の開催のうち3日間は中止になりましたが、約1000社の企業を招くことができ、学生は企業とコンタクトをとる機会を十分に得ることができたと思います。

4月には緊急事態宣言が発出され、学生は原則、大学への入構が禁止に。そのため、対面での就職相談ができなくなりましたが、「スカイプによる面談の実施」、「メール配信

による求人情報の発信」、「電話応対」などで対応しました。とりわけ、スカイプ面談は予約が満員になるほど、たくさんの方が活用しました。その後は、企業も感染症対策の一環としてWEB面接を採用するようになり、スカイプ面談を利用した学生にとっては良い練習になったと思います。最近では、画面映りが良くなる照明の使い方など、本番により役立つWEB面接対策講座も開講しています。

また、この度のコロナ禍は企業にとっても想定外の出来事。キャリア支援課としては、企業が採用活動を継続しているかどうかを確認した上で、7月以降、順次学内での企業説明会を開催していく計画を立てています。以前のようなブースを並べる方式を取ることができませんが、1つの講義室につき1社の企業をお招きし、学生も参加予約制にするなどの感染症対策を取って行う予定です。

です。まだ内定を獲得していない学生には、こうした場に積極的に参加してほしいと思っています。

さらに、現3年生向けのキャリア支援も進行中です。春学期に行う「キャリアアップローチテスト」、「自己理解ワークショップ」、「履歴書作成講座」をはじめ、年間を通して行う「筆記試験対策講座」は例年対面で行っていましたが、今年は遠隔で行うことで、予定していたスケジュールに遅れが出ないように進めています。インターシップについては、身だしなみやマナー等を身につけるインターシップAは遠隔で実施済みですが、企業等で就業体験をするインターシップBは中止としました。

中部大学では、キャリア支援課がキャリア支援の企画実施や各種データの提示を学生にダイレクトに伝える方法と、各学科のキャリア開発担当教員に伝え、そこから各学科のゼミの先生に伝えて所属の学生に伝えるという2つのループを構築しています。そうすることで、すべての学生にもれなく情報を伝達しています。また内定を獲得していない学生は、担当教員やゼミの先生に相談しても良いですし、キャリア支援課に直接相談しても結構です。秋学期以降も企業とコンタクトを取れる機会を作っていますので、ご子息・ご息女にぜひ相談に行くようにお伝えください。

## PROFILE

中部大学工学部機械工学科を卒業後、大学院へ進学。助手、講師、助教授を経て、2005年に教授となる。専門分野は機械力学。趣味は鉄道模型の運転・製作。休日は鉄道写真を撮りに出かける。今年の冬は北海道でJR宗谷本線のラッセル車を撮影した。



## 腕木式信号機

学内の  
お気に入り  
SPOT

クラブ・サークルプラザの北側に佇む「腕木式信号機」は、旧豊橋鉄道田口線鳳来寺駅から移設されたもの。ぜひ残しておきたい逸品です。





# 大規模科目を担当する教育科が持った危機意識と、 学生の安全を守るための 感染防止対策

(サーモグラフィによるスクリーニングシステムの開発)

工学部 創造理工学実験教育科 准教授

大嶋 晃敏

## PROFILE

大阪市立大学大学院理学研究科数物系専攻後期博士課程修了。専門分野は宇宙線物理学、高エネルギーガンマ線天文学。趣味は国内外での街歩き。その土地の美味しいものや珍しいものを見つけること。特技は長年、研究で南インドに出張しているため、タミル語が少し分かります。

ここでは、新型コロナウイルスの世界的流行という厳しい状況の中、中部大学が学生教育を推進しつつ学内感染防止対策の一つとして行っている、サーモグラフィによるスクリーニングについてお話ししたいと思います。

まずは事の発端である、私が所属する創造理工学実験教育科をご紹介します。創造理工学実験教育科は、いわゆる工学部の「学科」ではなく、工学部全学科の基礎教育を担当している「教育科」です。主に、1年生を対象とした実験科目の運営を行っており、年間1500人が受講する大規模科目を担当しています。春学期には全学科必須の「創造理工学実験Ⅰ」、秋学期には一部学科必須の「創造理工学実験Ⅱ」をそれぞれ開講しています。

さて、ご存じの通り、今年に入って間もなく、新型コロナウイルスの感染が世界的に広がり、世界保健機関が「世界的大流行(パンデミック)」の宣言を出す事態となりました。私たち、創造理工学実験教育科の所属員

(14名)は、当時、「創造理工学実験Ⅱ」の学期末に差し掛かっており、成績評価や新学期の授業方針について、話し合いを始めていた時期でした。やがて、日本でも感染者が出始め、3月に入る頃には、研究会や学会が中止になるなど、研究活動にも影響が出てきたことを覚えています。一方、新学期についての本学の方針も出始め、私たちは、新学期の授業運営について議論を重ねました。結果的に「創造理工学実験Ⅰ」は、遠隔授業で行うことになりましたが、当時は、いわゆる「3密(密接・密閉・密集)」を、如何に避けつつ対面授業を行うか、ということを議論していました。冒頭で紹介したように、「創造理工学実験Ⅰ」は全学科必須であることから、一つのクラスで感染者が出た場合、同じ実験室を使っている他の全クラスに影響が及ぶため、感染者を出さないことが如何に重要な課題であったか、お分かりいただけるかと思えます。

当時から、感染の疑いのある人を早期に

発見することが、感染防止に重要であると言われていましたし、新型コロナウイルス感染の初期症状として、「発熱」が重視されていたこともあり、対面授業を念頭に置いていた私たちは、サーモグラフィの導入による独自のスクリーニングを検討しました。市販品を購入する案もありましたが、非常に高価であったため、安価な赤外線カメラと小型コンピュータで自作することにしました。これが、3月末のことでした。4月に入って、サーモグラフィの試作機が完成すると、本学の新型コロナウイルス感染症対策本部から、学内の活用の打診がありました。私たちは、学内での活用に対応できるように、運用方法まで含めた開発を進めました。現在では、本学9号館と10号館にそれぞれ2台ずつ設置されています。今後、新型コロナウイルスの第2波やインフルエンザを始めとする流行性感染症への対策として、サーモグラフィの台数を増やしていく計画です。

結果的に遠隔授業になったことで、創造理

工学実験で使われることのなかったサーモグラフィですが、本学の学生の安全を守るために多少なりとも役立つことを願っています。また、私自身、専門外である「熱の測定」を経験したことで、新しい知見を得ることができました。特に、非接触熱測定では、測定環境や人体の個体差が測定に大きく影響します。ある程度予想はしていましたが大きな驚きでした。この新型コロナウイルスの流行が落ち着き、学生が大学に來られるようになったとき、サーモグラフィの原理に関する実験教材を開発し、創造理工学実験に取り入れたと考えています。

サーモグラフィの性能向上を目指した開発は今も続いています。今回、独自サーモグラフィを短期間で開発できたのは、創造理工学実験教育科と教育技術部の協力を依るところが大きく、また、運用においては、多くの事務系職員の皆様の協力があります。ここに、関係する皆様へ御礼を申し上げます。一日も早い、流行の終息を願います。





# 組織変革の契機としての COVID-19

経営情報学部 経営総合学科 教授

寺澤 朝子

PROFILE

名古屋大学経済学研究科博士後期課程単位取得満期退学(名古屋大学経済学博士)。専門分野は経営組織論・組織行動論。柴犬との散歩が癒しの時間。ヨガで習得した呼吸法がストレス低減に役立っている。

長年のうちに硬直化し、なかなか柔軟性を発揮できない組織が、環境が変化の中で淘汰されないよう、もう一度柔軟性を発揮させようとする試みが組織変革である。組織変革がうまくいかない理由は、「このままではいけない」という危機感がありながらも慣性がはたらき、組織メンバーの行動がなかなか変わらないことにある。組織の硬直化を打破する組織変革を成功させるには当事者意識を持った組織メンバーのリフレーミングとそれに伴った新たな行為が組織の随所で生まれることが必要となる。

リフレーミングとは、自らを取り巻く現実と異なった解釈や別の意味づけをすることである。心理学における「図と地」の反転と同様に、図だと思っている部分が注意の焦点が変化することによって地になり、同じ絵が壺に見えたり、二人の横顔に見えたりする。

注意の焦点が変化しリフレーミングが起きるきっかけは、3種類に分類できる。「日常的な状



況」非日常的な状況が生じた日常的状況「非日常的状況」である。「日常的状況」とは、これまでとは異なる刺激を受け続け、蓄積されている状況であり、ある時点の気づきによって回顧的にリフレーミングが起きていたことに気づく。

「非日常的状況」とは、突然自分が天災に見舞われてしまう、あるいは自分が巻き込まれることは夢にも思っていなかった事件や犯罪に巻き込まれてしまう状況である。最初はバニック状態であるが、そのうちリフレーミングによって全く新しい現実の解釈を獲得する。たとえば、東日本大震災の被災者は、自分の家や家族を失い、絶望的な状況で劇的なリフレーミングを経験するが、自分が被災者であるという新たな状況の定義に基づき、被災者用のプレハブ住宅での新たな生活を構築し始める。

最後の「非日常的な状況が生じた日常的状況」とは、自分の生活は日常性が継続しているにもかかわらず、非日常的な事象が生じ、非日常と日常を融和させるために起こすリフレーミングである。たとえば、社長の交代が突然告げ

られる、他部署への配属が命ぜられる、特別なプロジェクトメンバーに選ばれるなどの状況であり、組織変革ともかわりが深い。

今回のCOVID-19の感染拡大とその後の変化は、「非日常的な状況が生じた日常的状況」にあたる。天災や大事故とは異なるが、過去に例を見ない緊急事態宣言やグローバル化した経済の著しい停滞にこれまでの常識は通用しない。

我々は、この非日常的状況が生じた日常において、リフレーミングできたであろうか。COVID-19の感染拡大とそれに伴う社会変化から生まれる感情は、当然のことながら不安や恐怖が伴う。しかし、リフレーミングによって新しい現実の解釈を獲得したときには、不確実性が削減され、明瞭性の感覚が伴うという。新しい状況の定義のもとで、新たな行動が生みだせるかどうか。ニューノーマルという言葉が意味しているのは、変革そのものである。

4月に中部大学で全面遠隔授業が決定したとき、我々教員は否応なく新たな状況に適応

するためにリフレーミングせざるを得なかった。対面授業ができなくなったときに、学生にどのような教育を実践できるのか。ほとんどすべての教員が不安を感じ、戸惑ったことであろう。そういった状況の中でも、大学での遠隔授業を成功させるために多くの教職員が積極的に他の教員や学生のために行動してくれたこと心から敬意を表したい。

大学と同じような状況が、後援会員の属する多くの企業で生じていたことであろう。寸断されたサプライチェーンは、修復する気配がなかなかみられない。見切り発車したテレワークの導入に苦労している会社もあれば、テレワークが不可能な製造現場において、いかに3密を避けるかに苦労している会社もあろう。この先も、予測できない展開が待っていることを想定しつつ、今起こっていることを注意深く見つめながら、目の前の変化に素早く対応するしかない。そして同時に、5年、10年先のニューノーマルの社会の長期的展望に基づいた組織変革が必要になることは間違いないであろう。





# コロナ禍におけるトルコ人のユーモア

国際関係学部 国際学科 教授

中山 紀子

## PROFILE

総合研究大学院大学文化科学研究科地域文化学専攻博士後期課程修了。博士(文学)。専門は文化人類学。「親の七光り」ならぬ、指導した学生が偉くなって「弟子の七光り」で生きるのを理想とする。座右の銘は「人生万事塞翁が馬」。

私の専門分野は文化人類学で研究対象地域はトルコです。文化人類学という学問の大きな特徴は長期のフィールドワークを行うことで、私もトルコ語を学び話せるようになった上で、トルコのある村に1年間滞在し調査を行いました。つまり文化人類学は他の学問分野より、現地の人々との接触が多く交流が深いのです。ここでは、その交流のなかで私がトルコ人の大きな特徴のひとつとして常々感じているユーモアのセンスについてご紹介したいと思います。コロナ禍のなかでもそれは遺憾なく発揮されていました。

トルコにおけるコロナの状況は7月17日現在感染者数21万人強(世界で15番目)、死者5440人(『朝日新聞』)とかなり深刻ですが、3月下旬ごろはまだ感染者数1000人弱、死者数十人でした。ただ3月上旬には感染者0人だったので、あれよあれよという間に増える感染者数にみんな慌



ているところでした。そんな3月下旬にトルコ人の友達からWhatsAppに1枚の絵が送られてきました(図参照)。イスラーム服を着た男性とトルコ語の文章が書かれています。「ŞU SİRALAR GELME」という文章を訳すと「今は来ないで」「Mevlânâ」(メヴラーナ)というのが男性の名前です。

メヴラーナとは「我が師」という意味で、13世紀のトルコに生きたイスラーム最大の神秘主義詩人であるジャラル・ウッディーン・ルーミーのことです。旋回舞踊で有名なメヴレヴィー教団の創始者としても知られています。数多くの名言を残しているのですが、とくに彼の寛容さを表わす言葉として、「来い、来い、おまえが何であつて来い。たとえ異教徒であれ、たとえ拝火教徒であれ、あるいはたとえ偶像崇拜者であれ、来い」があります。どの宗教を信じているかに関わりなく、自分のところに来ていいと呼びかけているのです。ところがこの絵では、それほど寛容なメヴラーナでも、「(コロナが流行している)今は来ないで」と言っているのです。ご丁寧にもメヴラーナはマスクをし、そばにはコロナを置いています。

メヴラーナとは「我が師」という意味で、13世紀のトルコに生きたイスラーム最大の神秘主義詩人であるジャラル・ウッディーン・ルーミーのことです。旋回舞踊で有名なメヴレヴィー教団の創始者としても知られています。数多くの名言を残しているのですが、とくに彼の寛容さを表わす言葉として、「来い、来い、おまえが何であつて来い。たとえ異教徒であれ、たとえ拝火教徒であれ、あるいはたとえ偶像崇拜者であれ、来い」があります。どの宗教を信じているかに関わりなく、自分のところに来ていいと呼びかけているのです。ところがこの絵では、それほど寛容なメヴラーナでも、「(コロナが流行している)今は来ないで」と言っているのです。ご丁寧にもメヴラーナはマスクをし、そばにはコロナを置いています。

コロナはいわゆる「オーデコロン」のことですが、香水というよりもっと気軽にじゃぶじゃぶと使えるレモンの香りづけがされたアルコール消毒液というほうが実態に近く、値段も安いです。トルコでは、家への訪問客に対して、あるいは長距離バスの乗客に対して必ずふるまわれる大変身近なものです。コロナへの感染予防として現在ますます需要が増えています。もちろんメヴラーナが生きていた時代にはマスクもコロナもありません。メヴラーナの寛容さをもっとよく表す「来い、来い…」という深い詩を逆手にとって「(コロナのときには)来ないで」とメヴラーナに言わせ、さらに身近なマスクとコロナを身につけさせている。この絵を見た瞬間、ありえない組み合わせを思いつくトルコ人の絶妙なユーモアに大笑いしました。同時に、深刻な状況に思考停止になりがちな私たちにこそ、現実をずらす笑いが必要なのではないと思ひ至りました。





# 670年前のパンデミックから考える、 疫病と私たち

人文学部 歴史地理学科 准教授

佐々井 真知

## PROFILE

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科比較社会文化学専攻博士後期課程修了。専門分野は中世イングランド都市社会史。趣味は博物館・美術館めぐり。とくに好きなのは、ロンドンのヴィクトリア&アルバート博物館とロンドン博物館。

ジェノヴァ人の乗った12艘のガレー船は、彼らが犯した罪に対して神から下された罰を逃れて、メッシーナ市の港に入った。そしてジェノヴァ人は、骨の髄まで侵された疫病を伝染させたのであった。

『シチリア年代記』の1347年に関する記述である。この後2年余りにわたってヨーロッパを苦しめた疫病(ペスト)の到来を記している。このときのペストでヨーロッパが失った人口は、地域によって半分とも3分の2ともいわれている。670年前のパンデミックである。

中世の人びとにとって疫病の流行は、原因もわからなければ感染状況も対策もわからない、恐怖そのものであった。人びとは、この得体の知れない恐怖にどのように対峙していたのだろうか。

当時の人びとは、疫病の流行を「神罰」と捉えていた。神が「人間が犯した罪を処罰す

るため」に地上に疫病の流行をもたらした、ということである。当時のキリスト教的価値観に照らせば納得のいく解釈である。なお、ペストはペスト菌によって引き起こされるネズミなど齧菌類(げつしんるい)の病気で、ノミなどの媒介により人も感染するのだが、ペスト菌が発見されたのも、それをノミが運ぶことが明らかにされたのも、19世紀末のことである。

「神罰」である疫病に、中世の人びとは真摯に対応した。聖母像に祈願したり、十字架を掲げ讃美歌を歌って通りを練り歩いたりして、神の怒りを鎮めようとしたのである。一方で、「逃げる」という現実的な対応も取られていた。当時の年代記は、人びとが患者の出た家に近づかなかつたこと、医師が感染を恐れて診察に行こうとしなかつたことなどを伝えている。「最初に取りべき最も確実な措置は、疫病が存在する場所から逃れることである」と書いた医師もいる。患者の近くにいた者が新たな

患者となるという事態を目にした人びとが、原因はわからないにせよ、患者と接すると感染するらしい、ということに気づいたのだろう。

ここに見られるのは、キリスト教的価値観に基づく対策と、感覚や経験に基づく対策の共存である。疫病を「神罰」つまり「神の思し召し」と捉えながらも、周囲の人びとが続々と亡くなっていく事態に直面した人びとはそれを何もせずに受け入れることはできなかつた。そこで、神の怒りを鎮めるための行動と、

感覚・経験から生まれた疫病回避の行動に出たのである。中世の人びとが、原因も対策もわからない中で必死に疫病と戦っていた姿が浮かび上がってくる。

私たちは21世紀のパンデミックの渦中にいる。新型コロナウイルス感染症については、まだ不明な点はあるにしても、原因も対策も最低限のことは明らかにされている。一方で、14世紀とは比較できないほどに社会が複雑

化した今、私たちは疫病の流行そのものだけでなく疫病の流行によって表面化した数々の問題にも直面している。疫病との戦いは、過去に比べて楽になつたとは決して言えない。それこそ神にすがりたくもなるが、神にすがるかどうかはともかく、私たちも、中世の人びとと同様に必死に疫病と向き合うしかないのである。

疫病との戦いのさなか、心がふさぎ込んだら、疫病の中世を生きたある市民のこぼれを思い出したい。父や3人の伯父、3人の従兄弟をペストで失ったフイレンツェ市民が息子に向けて書き残したものである。

楽しく愉快的な家族にしなさい。そして家族に健康的で立派な生活をさせなさい。心配事なしに節約して生活していきなさい。なぜなら健康なままに、死を逃れて生きていくことの方がずっといいからである。

参考文献(史料の引用はすべてこれによる)  
石坂尚武編訳「イタリアの黒死病関係史料集」(刀水書房、2017年)





# 新型コロナウイルスへの治療薬

応用生物学部 応用生物化学科 教授

福田 雅夫

## PROFILE

東京大学大学院農学系研究科農芸化学専攻修士課程修了、博士課程中途退学(論博)。日本農芸化学会フェロー。専門は微生物学、分子生物学。音楽を聴くのが好きで、ライオネル・リッチー、アーロン・ネヴィル、ベイビーフェイスなどのブラックコンテンポラリー系を好んで聴いています。

細菌の感染症は、抗生物質を主とする抗菌薬で治療が可能になり、人類が脅威に感じることがなくなりました。図1に示すように、サルファ剤、ペニシリンやストレプトマイシンなどの抗菌薬の開発と使用により、1945年以降、死に至る病と言われた結核、細菌感染症による肺炎や胃腸炎による死者が激減しました。

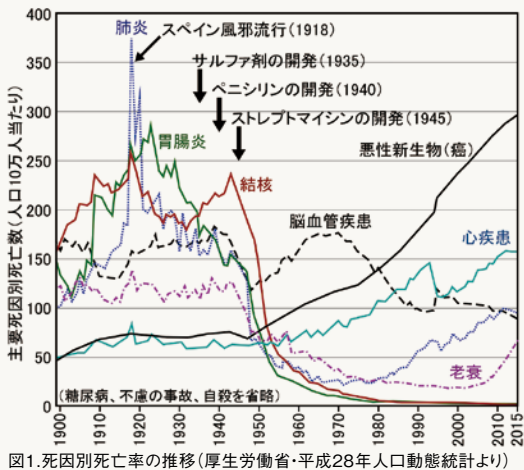


図1. 死因別死亡率の推移(厚生労働省・平成28年人口動態統計より)

細菌は動物と同じ祖先から進化したと考えられる細胞生物で、遺伝子暗号やタンパク

質合成のシステムなどに動物細胞と類似点を持っています。しかし、核やミトコンドリアなどの細胞内器官がなく、動物にはない細胞壁を持っています。またタンパク質合成装置のリボソームは、似ているものの明確な違いがあります。異なる進化を長く続けた結果と考えられます。抗菌薬はこのような違いを標的にしており、細菌に効いて動物細胞には作用しないようになっていきます。例えばストレプトマイシンはリボソームに作用してタンパク質合成を、ペニシリンは細胞壁の合成を阻止します。

一方、ウイルスは細胞を持たず、宿主細胞に侵入して自分の全遺伝子を含む核酸(DNAまたはRNA)と殻(カプシド)を構成するタンパク質を宿主細胞のシステムを借りて合成し、核酸を殻に包んだウイルス粒子を製造させて増殖する完全な寄生体です。抗菌薬の標的になった細胞機能はウイルスにはなく、攻め手が乏しい相手です。図2に新型コロナウイルス(CoV-2)の増殖過程を示します。CoV-2の核酸はRNAでカプシドに包まれ、さらに宿主細胞の細胞膜で包まれたウイルス粒子となっています。この細胞膜のカプシドをエンベロープと呼びます。エンベロープ表面にはスパイクと呼ばれるタンパク質の突起があり、この突起と宿主細胞の受容体タンパク質が結合して、感染の第一歩となる吸着が起こり、細胞内への侵入を引き起こします。次にエンベロープと宿主細胞の細胞膜同士が融合し、カプシドを外して脱殻し、核酸を放出します。抗血液凝固薬フサン(ナファモスタット)は細胞膜融合を阻害すると考えられます。細胞膜は脂質でできており、アルコールに脂質が溶けてエンベロープが壊れると感染できなくなるので、エチルアルコールで消毒できます。放出されたCoV-2のRNAは宿主

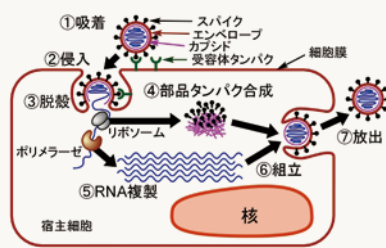


図2. 新型コロナウイルスの増殖過程

細胞リボソームの機能により、カプシドやスパイク、ポリメラーゼを含むタンパク質が生産されます。ポリメラーゼはウイルスRNAを複製します。治療薬として話題になっているアビガンやレムデシビルはポリメラーゼの働きを阻止すると考えられます。生産されたカプシドタンパク質で複製されたウイルスRNAを包み、スパイクタンパク質を含む宿主細胞の細胞膜で覆うとウイルス粒子の組立が完了し、細胞外に放出されます。放出されたウイルスは周囲の細胞にさらに感染することになります。尚、治療薬として厚生労働省が認可したステロイド剤デキサメタゾン、米国やブラジルの大統領が愛用する抗マラリア薬は抗炎症作用をもち、組織のダメージを抑えると考えられます。

アビガンやレムデシビルは別のウイルスの治療薬として開発され、流用されたものです。CoV-2の増殖過程が分子レベルで解明されてきており、はるかに有効な治療薬が開発されると期待されます。





# 「Withコロナ」の社会であてにされる人財育成

生命健康科学部 生命医科学科 教授

伊藤 守弘

PROFILE

三重大学大学院医学系研究科修了。博士(医学)。2006年、三重大学医学部より中部大学生命健康科学部生命医科学科へ。現在、学生サポートセンター長、学生部長補佐、寮長、生命健康科学部長補佐を兼任。専門は微生物・感染症学等。健康のためにウォーキングを続けている。

世界を揺るがせている新型コロナウイルス感染症。5月25日に政府の緊急事態宣言が全国で解除され、約2カ月間にわたる「非日常」が少しではありますが、落ち着きを見せてきています。私は、微生物・感染症、ウイルス学を基礎とする予防医学を専門としています。人間が根絶できなかったウイルスは、天然痘ただ1つです。ウイルスを根絶するには、①劇的に有効なワクチンがある②感染経路が確実に特定できる③確実な症状が出る、もしくは確実な診断方法がある、という3つの条件を満たす必要があります。次に根絶できるのは、「ポリオ」「麻疹(はしか)と言われていますが、まだ成功していません。今回の新型コロナウイルス感染症は、未だどの条件も満たしていません。ワクチンの開発がマスメディアで時々報道されていますが、現時点では劇的に予防可能になるとは思えません。以上から考えると、しばらくの間、共存するしかありません。だからこ

その、この新型コロナウイルス感染症の抑圧は長期戦と覚悟しつつも最小限の被害に抑えるべく、我々の研究成果やこれまでの知見が一日も早い感染症収束の一助となればと奮闘努力しています。こうした、「withコロナ」の社会で生きることに対し、生命健康科学部の学生に何が求められるのかを考えてみました。生命健康科学部で学ぶ学生は、近い将来、このウイルスについて授業で学修することになると思いますが。現時点ではわからないことが多い病原体であり、確固たるエビデンス(根拠)に乏しい状況ですが、将来、学生の中でこの騒動をきっかけにして微生物学を一生の仕事にする人が現れるかもしれません。現に、感染症研究に興味を持ち、研究室配属を希望した生命医科学科の学生がいます。さらに、新しい生活を意識して、救急救命士としてのバイオニア

(新規開拓者)を目指し、大学院に進学を決め、予防救急の研究をはじめたスポーツ保健医療学科の学生もいます。生命健康科学部の学生は、学びを進める上で気がつくことがあります。それは、医学・医療が比較的新しいことであり、自分たちの学んでいることが医学・医療の最先端であるということ。現1万円紙幣の福沢諭吉は麻酔もX線診断も無い時代に生まれてます。現5千円紙幣の樋口一葉は麻酔下で無菌手術ができるようになった頃に生きています。日本人は古代から疫病に苦しめられてきました。結核、痘瘡(天然痘)、マラリア、麻疹、コレラ、ペスト…。鎖国をしていたはずの江戸時代も、世界各地で繰り返し流行していたインフルエンザやコレラが長崎などから何度も日本に入り、猛威を振るったとの記録があります。今から100年ほど前に始まるスペイン風邪(インフルエンザ)は、世界中で4人に1人が感染

し、数千万人が亡くなったと言われています。これだけ疫病に苦しめられてきたのに、病が沈静化すると克服したつもりになり、すぐに忘れてしまうのでしょうか。今回の新型コロナウイルスのパンデミックは、100年後、200年後、あるいはそれ以上に亘って語り継がれると思います。私たちは、その歴史の生き証人であり、一人一人が歴史を創る当事者でもあります。今回の新型コロナウイルスの感染拡大において、外出自粛や手洗い励行といった行政からの要請に、多くの人が素直に従っています。学校の休校措置や在宅ワークなどの試みも、ウイルスを運ぶ媒体を減らすという意味で良かったと思います。これを今後のモデルにしなければならぬと思っています。これを実践するのが、生命健康科学部で学んだ人財です。そのために、我々は「withコロナ」の社会であてにされる人財育成を、さらに推進する必要がありますと考えています。





現代教育学部 現代教育学科 講師

伊藤 大幸

PROFILE

名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻博士後期課程短縮修了。専門分野は発達心理学。研究テーマは、ユーモア、発達障害、生活困窮など。もっと公平で、生きやすく、楽しい世界のあり方を考える。好きな言葉は「転んでもただでは起きぬ」「置かれた場所で咲きなさい」。

# コロナ禍がもたらす大学教育の革新

「アクティブ・ラーニング」  
昨今、教育業界では「アクティブ・ラーニング」あるいは「主体的・対話的で深い学び」の重要性が叫ばれている。今般のコロナ禍では、本学を含め、多くの大学や学校でオンライン授業が導入された。オンライン授業は、しばしばアクティブ・ラーニングの実践に不向きな指導形態であると認識されがちである。筆者自身、当初はそのような認識を持っており、いかにしてオンライン授業という形態のデメリットを最小化し、対面授業に近づけるかという視点にはかり囚われていた。しかし、オンライン授業の方法論について広く情報を集め、具体的な授業計画を練る中で、オンライン授業は対面授業とは異なる強みを持った指導形態であり、工夫次第ではむしろ対面授業よりも優れた教育を実践しうるのではないかと考えるようになった。その考えは、実際にオンライン授業が始まると確信に変わった。私が実感したオンライン授業の強みは主に以下の3点である。

第一に、全ての受講者が等しい「距離感」で授業に臨むことができる。対面授業、特に私が担当するような大人数の講義では、座席の位置によって教員との距離感が大きく異なる。その結果、前方の学生は比較的緊張感を持って授業に参加する傾向があるが、後方の学生の集中力は否か応でも途切れやすい。ビデオ会議システムを用いた双方向型のオンライン授業では、全ての学生がモニタを介して教員と対面するため、こうした心理面での不公平は生じないし、座席位置によって文字が見えにくい、マイクの音が聞き取りにくいといった物理的問題も避けることができる。

第二に、文字入力により受講者の意見を即座に把握することができる。対面授業で挙手または指名によって受講者の考えを尋ねると、同じ学生ばかりが発言する、無回答や追従的な回答が多くなるといった問題が生じやすい。オンライン授業ではチャット機能で意見を入力させることで、全員の理解度や考えを即座に把握し、授業進行に役立てることができる。また、興味深い

回答や対立する回答を取り上げ、口頭で理由や詳細の説明を求めることで、効果的に議論を深めることができる。多様な見解に触れることは、自分自身の考えが唯一の「正解」ではないことに気づかせ、知的好奇心を喚起する上で最善の方法である。こうした活動を20〜30分ごとに取り入れることで、受講者の集中力を維持する効果も得られる。

第三に、課題のフィードバックを効率的に行うことができる。対面授業では、毎回の授業で小レポートを課しても、時間の制約で各自に返却することが困難である場合も多い。その点、オンライン授業では全員に一瞬で採点結果をフィードバックすることができる。また、翌週の授業を待たず、記憶が鮮明なうちにフィードバックを返すことができるため、受講者の意欲や学習効果も高まりやすい。実際、筆者の担当科目では毎回300〜1000字を目安（超えてもよい）として小レポートを課しているが、回を経るごとに学生の記述量が増しており、2カ月が経った現在では7割以上の学生が10000字以上を書くようになってきている。昨年度の対面授業では最大でも7000字程度であったことを考えると、学生の意欲の高さがうかがえる。

大学で教鞭を執るようになって10年以上、アクティブ・ラーニングを実践するために試行錯誤を重ねてきたが、くしくも今回のオンライン授業によって初めてそれが実現できたように感じている。特に一方向的になりがちな大人数の講義では、オンライン授業に用いられるICT技術が双方向的な学びの実践に大きく貢献しうることを知った。おそらく多くの教員が同様の気づきを得ているものと思われる。しかし、上に述べた第二、第三の点は、対面授業にも取り入れていくことができる。その意味で、今回のコロナ禍は最新のICT技術の導入により大学教育そのものの形を革新する一つのきっかけになるのかもしれない。



## 2020年度 第2回 「父母との集いWEB開催」の お知らせ

中部大学後援会では、例年、先生と保護者の皆様が交流する行事として、大学会場と地区会場にて「父母との集い」を開催していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月～8月末にインターネットを介した第1回「WEB父母との集い」を公開いたしました。11月には第2回「WEB父母との集い」を公開予定です。詳細は別途ご案内いたします。



### ◆ 父母との集い特設サイト ◆

**閲覧期間** 11月中旬～12月末まで(予定)

※閲覧が可能な期間になりましたら、別途ご案内いたします。

### 新入生の保護者の皆様へ

「父母との集い」は、ご子息・ご息女の大学生活を知っていただける絶好の機会です。特に新入生の保護者の皆様には閲覧をお勧めします。

### はじめての方 遠方の方もぜひ

「今まで参加したことがない」「遠方で行けなかった」という方もぜひご覧ください。場所や時間を選ばないのがオンラインのメリットです。

### 何度でも閲覧可能

「とりあえず学部の話だけでも聞いておきたい」という方は、まずは気になる内容から閲覧ください。期間内は何度でも閲覧が可能です。

### ((( 閲覧された皆様の声 )))

都合のいい時間に、  
ゆっくりと見ることが  
できたので良かったです。

今回、先生方の動画  
を見て今の大学の状  
況を知ることができま  
した。

見やすく分かりやす  
かったです。次回も楽  
しみにしています。

就職について気にな  
っていたのでキャリ  
ア支援のお話は大変  
参考になりました。

聞き逃したところ(見  
逃したところ)を後か  
ら見直すことができ  
たので良かったです。  
Webの利点ですね!



# 「役員会・評議員会」報告

## 2019年度報告

### ■2019年度 事業報告

月 日	事業概要
4月1日	●2019年度「父母との集い」案内リーフレット発行、発送(全会員) 新入生の保護者のための「中部大学ハンドブック」発行、発送(新入会員)
5月25日	●役員会・評議員会・懇親会開催 (ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋) 2018年度事業報告、決算報告 / 役員、評議員改選 / 2019年度事業計画、予算審議
6月24・25・ 27・28日	●「学内企業説明会(2020年3月卒業予定者対象)」協賛 (中部大学学生教育部キャリア支援課主催) 参加企業188社 / 学生参加者187名(三浦幸平メモリアルホール)
6月15・22日	●「父母との集い」開催(大会会場:3・4年生対象) 全体会、学部(学科)説明会、個別面談(三浦幸平メモリアルホール他)
7月31日	●2018年度教育活動顕彰授賞式(中部大学スチューデントホール) 後援会より、教育活動振興支援金として援助 (教育活動優秀賞12名・教育活動特別賞1名)
8月1日	●中部大学後援会会報「信頼」第65号発行、発送(全会員)
9月14日～ 11月23日	●「父母との集い」開催(大会会場:1・2年生対象、地区会場) 全体会、学部(学科)説明会、 個別面談(大会会場および広島、松本、富山、岐阜、浜松、四日市の各会場)
2月10・12～14・ 17～21・25日	●「学内業界研究会(2021年3月卒業予定者対象)」協賛 (中部大学学生教育部キャリア支援課主催) 参加企業873社 / 学生参加者4,455名(中部大学第1学生ホール) *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月26日、27日、28日は中止
2月20日	●役員懇親会(キャッスルプラザ) *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
中部大学通信「ウト」の送付(4回) / 資格取得講座・公務員講座補助 10講座332名 / 就職対策試験検定料補助 22種2,662名	

### ■「父母との集い」実施状況 参加者2,035名

開催地	会場	開催日	参加者数
大学	三浦幸平メモリアルホール	6月15日(土)	403名
大学	三浦幸平メモリアルホール	6月22日(土)	451名
広島	ザ・ロイヤルパークホテル広島リバーサイド	9月14日(土)	6名
松本	ホテルモンターニョ松本	9月22日(日)	28名
富山	ホテルグランテラス富山	9月28日(土)	22名
岐阜	岐阜グランドホテル	10月13日(日)	113名
浜松	ホテルクラウンパレス浜松	10月26日(土)	60名
大学	三浦幸平メモリアルホール	11月9日(土)	453名
大学	三浦幸平メモリアルホール	11月16日(土)	433名
四日市	四日市都ホテル	11月23日(土)	66名

## 中部大学後援会会則

- 第1条 本会は中部大学後援会と称する。
- 第2条 本会の事務局は中部大学内におく。
- 第3条 本会は中部大学に協力し、大学を後援することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達するために、次に掲げる事業を行う。  
(1) 大学の教育、研究及び施設設備の拡充  
(2) 学生の就職斡旋活動に関する援助  
(3) 大学と保護者との連絡・会報の発行  
(4) 学生の福利厚生・奨学金援助  
(5) 学生の課外教育活動育成に必要な事業・援助  
(6) その他本会の目的達成に必要な事業
- 第5条 本会は次の会員をもって組織する。  
正会員 中部大学学生の保護者  
賛助会員 本会の趣旨に賛助する者
- 第6条 本会に次の役員をおく。  
会長 1名 / 副会長 2名又は3名 / 幹事 各学科若干名  
監査 3名 / 顧問 若干名
- 第7条 会長、監査は評議員会において会員のうちから選出する。  
2 副会長、幹事は会員のうちから会長が委嘱する。  
3 顧問は役員会の議を経て会長が委嘱する。
- 第8条 役員は任期は次のとおりとする。  
会長は会務を総理し、本会を代表する。  
副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。  
幹事は会長の指示を受け、会務を行う。  
監査は本会の事業及び会計の監査にあたる。  
顧問は本会の重要事項について会長の諮問に応じ又は助言する。
- 第9条 役員は任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。  
2 役員は任期満了後も、後任の役員が就任するまでは、なおその職務を行う。

### ■2019年度 収支報告書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

#### 収入の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
前年度繰越金	10,979,693	10,979,693	0	
後援会会費	127,760,000	127,760,000	0	新入会員2,583名×@50,000、 編入会員8名×@25,000、 △複数在籍者 会費減免 53名×@30,000
雑収入	5,000	5,526	△526	預金利息
収入合計	138,744,693	138,745,219	△526	

#### 支出の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
助成金	105,000,000	104,517,870	482,130	
記念事業寄付金	1,000,000	1,000,000	0	記念事業への積立
課外活動支援金	47,000,000	47,000,000	0	課外活動費、 ボランティアNPO活動費、医療費等
教育・研究図書支援金	27,000,000	27,000,000	0	教育・研究に係る図書整備に対する支援
就職活動支援金	15,000,000	15,000,000	0	学内企業説明会、就職支援対策費、 各種講座費用補助、就職対策検定料補助
学生課外研究支援金	4,000,000	4,000,000	0	「チャレンジ・サイト」活動への支援
奨学支援金	1,000,000	1,000,000	0	貸費奨学金制度への支援
教育活動振興支援金	1,000,000	517,870	482,130	教育活動顕彰制度に対する支援
学生生活支援金	9,000,000	9,000,000	0	修学サポート、学内環境整備等
事業費	22,000,000	17,645,026	4,354,974	
地区別後援会費	10,000,000	8,146,933	1,853,067	「父母との集い」会場費・運営費等
会議費	4,000,000	3,274,263	725,737	役員会・評議員会、役員懇親会
印刷出版費	7,000,000	6,223,830	776,170	後援会報「信頼」作成費等
災害見舞金	1,000,000	0	1,000,000	
事務費	8,520,000	7,360,407	1,159,593	
通信運搬費	5,500,000	4,904,163	595,837	後援会報、案内発送費等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	300,000	149,256	150,744	封筒等
消耗品費	250,000	79,812	170,188	コピー用紙、事務用品等
旅費	20,000	5,723	14,277	交通費
租税公課	0	0	0	印紙代等
雑費	450,000	221,453	228,547	弔電・供花、振込手数料、 オープンカレッジ補助等
予備費	2,000,000		2,000,000	
次年度繰越金	1,224,693	9,221,916	△7,997,223	
支出合計	138,744,693	138,745,219	△526	



2020年5月23日(土)に開催を予定していました2020年度中部大学後援会「役員会・評議員会」は、

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催といたしました。

各議案について承認を得ましたのでここにご報告いたします。

## 2020年度計画

### 2020年度 事業計画

#### 1. 会員と大学との連絡をはかる事業

##### (1) 会議の開催

- 役員会・評議員会 \*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催
- 大学の先生方との懇親会

##### (2) Webによる「父母との集い」の開催

- 第1回 Web配信(7月上旬)
- 第2回 Web配信及び各種面談(11月中旬) ※面談実施の可否は状況により判断

##### (3) 出版事業

- 後援会会報「信頼」の刊行(全会員)
- 「新入生の保護者のための中部大学ハンドブック」の刊行(新入会員)

#### 2. 大学への助成

##### (1) 教育・研究図書への整備に対する支援

##### (2) 就職活動支援(学内企業説明会)

##### (3) 教育活動振興支援

##### (4) 記念事業への助成

#### 3. 学生に対する助成

##### (1) 課外活動への支援

##### (2) 就職活動への支援

##### (3) 学生課外研究支援(チャレンジ・サイト活動)

##### (4) 奨学支援

##### (5) 学生生活支援(修学サポート、学内環境整備等)

##### (6) 災害見舞金の給付

#### 4. その他

##### 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための助成

### 2020年度 予算書 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

#### 収入の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
前年度繰越金	9,221,916	10,979,693	△1,757,777	
後援会会費	134,975,000	127,760,000	7,215,000	新会員2,731名×@50,000、 編入会員9名×@25,000、 △複数在籍者 会費減免 60名×@30,000
雑収入	5,000	5,000	0	預金利息
収入合計	144,201,916	138,744,693	5,457,223	

#### 支出の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
助成金	99,000,000	105,000,000	△6,000,000	
記念事業寄付金	1,000,000	1,000,000	0	大学の周年事業等への積立
課外活動支援金	45,000,000	47,000,000	△2,000,000	クラブ・ボランティア活動等への支援 学生の健康増進への支援
教育・研究図書支援金	27,000,000	27,000,000	0	教育・研究に係る図書整備に対する支援
就職活動支援金	15,000,000	15,000,000	0	学内企業説明会、就職支援対策費、 各種講座費用補助、就職対策検定補助
学生課外研究支援金	0	4,000,000	△4,000,000	自主的チャレンジ活動への支援
奨学支援金	1,000,000	1,000,000	0	貸費奨学金制度への支援
教育活動振興支援金	1,000,000	1,000,000	0	教育力向上への顕彰制度に対する支援
学生生活支援金	9,000,000	9,000,000	0	自主的な学びのための環境整備等への支援
事業費	10,500,000	22,000,000	△11,500,000	
地区別後援会費	4,000,000	10,000,000	△6,000,000	「父母との集い」会場費・運営費等
会議費	2,000,000	4,000,000	△2,000,000	役員会・評議員会、役員懇親会
印刷出版費	3,500,000	7,000,000	△3,500,000	後援会報「信頼」作成費等
災害見舞金	1,000,000	1,000,000	0	
事務費	10,020,000	8,520,000	1,500,000	
通信運搬費	7,000,000	5,500,000	1,500,000	後援会報、案内発送費等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	300,000	300,000	0	封筒等
消耗品費	250,000	250,000	0	コピー用紙、事務用品等
旅費	20,000	20,000	0	交通費
租税公課	0	0	0	印紙代等
雑費	450,000	450,000	0	吊電・供花・振込手数料、 オープンカレッジ補助等
予備費	22,000,000	2,000,000	20,000,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための支援
次年度繰越金	2,681,916	1,224,693	1,457,223	
支出合計	144,201,916	138,744,693	5,457,223	

\*前年度予算比減額は予備費に計上し、新型コロナウイルス対策として、必要に応じ大学や学生への支援に充当予定

### 2020年度中部大学後援会役員・評議員

#### 顧問

[理事長・総長]  
飯吉 厚夫

[学長]  
石原 修

[副学長]  
杉本 和弘

[学監・  
後援会事務局長]  
大西 信之

[教務部長]  
大塚 俊幸

[学生部長]  
花井 忠征

[キャリア部長]  
細川 健治

[大学事務局長]  
西川 敏治

#### 会長

山本 勇  
足立 憲昭

#### 副会長

所 元昭  
大井田 潤

#### 監査

和田 悦治  
高橋 豊  
稲垣 辰広

#### 幹事

渡瀬 聰  
安永 昌紀  
落合 芳隆  
清水 誠  
神野 洋彰  
畑 信一  
西垣 司  
佐野 雅史  
小川 昌樹  
駒田 光芳  
奥田 昌祥  
山崎 博文

山本 真路  
出原 将生  
鈴木 一郎  
今村 武人  
長野 猛  
大竹 靖  
稲垣 保夫  
伊藤 勉  
北島 直哉  
本多 俊太郎  
石黒 和義  
大田 巖  
前田 務  
境田 和美  
土屋 昌史  
塚田 崇  
服部 秀仁  
野々 直彦  
三原 明  
伊藤 宗幸  
門井 仁  
後藤 淳  
伊藤 信夫  
天野 茂則

前田 和秀  
大岩 充  
宮原 敏  
杉野 良幸  
山田 哲也  
藤野 智也  
加藤 昌尚  
小田 徹  
桐山 大輔  
長谷川 佳子  
山本 英毅  
寺澤 智博  
安井 和美  
田中 亘  
三木 功一郎  
井出 浩行  
松岡 茂  
福井 基泰  
岩崎 光成  
小池 知治  
清水 達哉  
寺町 秀明  
清水 健  
竹内 義昌  
林 隆生

丹羽 美由紀  
浅野 紀子  
原 奈津子  
川崎 光司  
大貫 裕治  
佐藤 隆幸  
栗木 光之輔  
宮地 重徳  
中村 功一  
坂井 実  
篠田 健治  
野田 智彦  
神田 保之  
梶田 基大  
臼井 将樹  
菊澤 忠史  
野田 和安  
丹羽 倫規  
荒木 浩  
佐藤 伸一  
真木 康史  
佐藤 慎祐  
森岡 香奈  
坂 貴行

山田 浩昭  
若月 保昌  
赤尾 信広  
土本 忠晴  
高山 和浩  
平野 晶  
北川 健司  
服部 忠利  
本多 弘和  
近藤 祐子  
伊藤 信隆  
廣田 達治  
吉本 直依

清水 哲児  
加藤 修二  
栗本 英生  
宮城 修  
服部 正樹  
成田 比佐志  
根来 良和  
長瀬 左樹子  
松山 成夫  
坂野 和裕  
岩崎 康治  
葛谷 健一  
西脇 毅  
畑 岳志  
大澤 譲  
千種 宏幸  
高羽 廣孝  
和之 隆司  
玉置 正勝  
小久保 孝  
畔柳 正広  
打田 浩一  
田田 貴志  
杉山 真司  
八木 泰樹  
丹下 浩孝

森下 昌泰  
小川 宏二  
安田 英生  
加藤 彦徳  
村田 利史  
櫻井 誠  
青柳 幹夫  
玉山 由美子  
岡田 浩義  
若山 宜彦  
鈴木 伸康  
岩田 隆司  
島村 玄  
山口 欣二  
大林 崇秋  
増田 至功  
萩野 隆司  
小島 慎一  
佐々木 成吾  
田島 賢博  
三宅 康生  
山内 一広  
渡邊 一弥

長坂 嘉久  
渡邊 辰児  
秋岡 隆  
中村 裕行  
野村 隆稔  
早川 貴章  
田中 弘毅  
佐藤 仁志  
池田 幸平  
柏 伸弥  
奥田 道博  
福井 弘之  
本田 覚志  
平塚 弘之  
加藤 清  
武原 謙二  
勝野 伸介  
野田 健作  
中根 伸夫  
片寄 孝治  
菅沼 耕二  
西川 和範  
神谷 正人

若林 塚本  
酒井 幹寛  
門野 名和  
堀江 愛美  
立松 英輝  
若尾 隆之  
谷田 博之  
二宮 幸則  
今井 博  
武藤 原崇  
大田川 寿徳  
大庭 雅樹  
岩田 健司  
松井 茂博  
戸賀 悟  
井戸 信吾

利樹 玄竹  
幹寛 英朗  
愛美 英輝  
若尾 隆之  
谷田 博之  
二宮 幸則  
今井 博  
武藤 原崇  
大田川 寿徳  
大庭 雅樹  
岩田 健司  
松井 茂博  
戸賀 悟  
井戸 信吾

※敬称略

#### 評議員

春日井 清隆  
吉見 憲一郎  
市川 宏二  
松末 和也  
奥村 直久  
打田 浩一  
田田 貴志  
杉山 真司  
八木 泰樹  
丹下 浩孝



## 学生相談室

この時期、親が子どもと接する上での留意点は「傾聴」と「共感」の二つに尽きると言っても過言ではないかもしれません。

多くの仲間と交流したい、企業訪問をして人生の進路を見極めたい、海外留学したいなど、コロナ禍はこうした瑞々しい思いを削ぐようにして蔓延しています。「これから」というこの時期になぜ災厄が起きたのか、こんなことになる前になぜもつとやっておかなかったのか、自分はなぜこんなにイライラしているのか、いったい自分は何者なのか。学生たちは、多くの「なぜ」に直面しな

がら日々を送っているのではないかと思うのです。保護者の皆様には、非常事態下で学生たちに内面的な動きが起きていること、ストレスにより身体的にも影響が出ていることをご理解願えらと思います。

では、そうした子どもにどのような接したら良いのでしょうか。

まずは、お子様の声に耳を傾けて頂けたらと思います。一緒に居る時間も増えましたので、様子を見ながら声をかけてみてください。「大変なんだよ」と言われたら、その「大変さ」に寄り添ってみてください。「大変なのはあな

ただけではない」と言ってしまうようになったら、深呼吸を取り敢えず最後まで話を聞いてください。頭ごなしに否定されることなく共感的に聞いてもらうことで、考えがまとまったり、ほっと一息ついたりする、そんな体験につながるかもしれません。「大変」な今こそ「大きく変わる」「大きく成長する」好機となるかもしれません。

学生相談室は、学生生活での「なぜ」を専門の相談員と考える場所です。現在、電話とZoomを使った遠隔相談と必要に応じての対面相談を行っています。お気軽にご利用ください。



# ”学び続ける“を支えたい

— 学生生活サポート —

新型コロナウイルス蔓延に伴い、従来とは違ったさまざまな悩みや不安を抱える学生が増えています。ここでは、Withコロナ社会を生き抜く学生たちを支える3つの支援組織をご紹介します。





## 学生サポートセンター

「コモンズセンター」として活動してきた当センターは、今春、学生へのサポートをより充実させる体制を目指し、「学生サポートセンター」に名称を変えて再スタートしました。これまでも学生の主体性を尊重しながら多様な悩みの支援を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により学内への入構が禁止となり、対面での面談ができなくなりま

WE B面談への移行を案内できたことは、当センターを必要とする学生に安心感を持ってもらえたように思います。

「自分の持ち味がわからない」「アルバイト先がブラックかも」「やる気のない自分を変えたい」など、さまざまな悩みに応えています。ときには就職面接の対応と一緒に考えることもあります。現在は、2名のコンシェルジュ、センター長、副センター長、4名の課員で対応しています。学生にとっては、幅広い年代の大人と話す機会であり、違う文化を持った人へ自分の考えを伝え、相手の考えを感じ取れるようになるチャンスです。本当の意味でのコミュニケーション能力を身につける良い機会になっていると思います。また、ここには、学生サポーターと呼ばれる、学内インタナーシップとして報酬を

得ながら就業体験を積む学生スタッフがいます。4月からはツイッターでの情報発信をはじめ、オンラインの「学生交流会」を企画して実施しました。新入生にとっては、悩みや不安を解消する場、先輩学生にとっては、後輩のために役に立ったという成功体験を得られる場になったようです。不安なのは新入生だけに限りません。この非常時を日常とは思えない学生も不安を抱えています。当センターは、学生生活全般の相談を受け付けています。より充実した大学生活を叶えたいなら、「学生サポートセンター」へ相談してみたら」と、お伝えください。



## 保健管理室

学生の皆さんの健康的な大学生活をサポートする保健管理室は、正門の坂を上がった正面に位置する9号館1階にあります。月曜日から金曜日の午前9時から午後6時（授業期間以外は午後5時まで）土曜日は正午まで、けがや病気への対処のほか、身体や健康に関するあらゆる相談を受け付けています。高校までの保健室と違う点は、養護教諭ではなく、保健師・看護師が常駐していること。広大なキャンパスの離れた場所で具合が悪くなって動けない場合でも、大学ホームページや本誌末尾に記載されている直通番号に電話をもらえれば、現場へ

駆けつけて応急処置に当たります。自分は大丈夫と考えず、友人の助けにもつながらりますので、モバイル機器等の電話帳に番号の登録をおすすめいただければと思います。

このたびの新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、当室は学内の相談窓口となり、感染防止対策に力を注いでいます。学校医と連携して正しい情報の把握に努め、大学施設課と協力して校舎入口に消毒薬を設置。学部学科での検温も推進し、37.5℃以上の学生は別室へ受け入れて、必要であれば医療機関につなぎます。また、3密を避けるために、

注意喚起の掲示をして、マスクのない学生には配布しています。

一方で、緊急時以外にも、学生が気軽に血圧や体組成を測定したり相談したりしやすい雰囲気づくりを心掛けています。大学生のうちに、自分で健康管理をする習慣を身につけてほしいからです。そのためにも、年に一度の健康診断は必ず受診してほしいと願っています。

学生一人ひとりの母親になった気持ちで対応しておりますので、何か少しでも気になることがあったら保健管理室を訪ねてみてほしいと、お子様にお伝えいただきたいと思います。



# テレフォンガイド

お問い合わせ内容	担当部署
後援会について	▶ 後援会事務局(渉外課) 0568-51-4745(直通)
成績・学業に関すること	▶ 教務支援課 0568-51-4593(直通)
学生生活について	▶ 学生支援課 0568-51-4697(直通) ▶ 日本学生支援機構奨学金 0568-51-9315(直通) ▶ 学生相談室 0568-51-9843(直通) ▶ 保健管理室 0568-51-4428(直通)
就職について	▶ キャリア支援課 0568-51-4184(直通) ▶ インターンシップオフィス 0568-51-5198(直通)
学費・その他の納付金について	▶ 会計課 0568-51-3018(直通)
国際交流(留学)について	▶ 国際センター 0568-51-4694(直通) ▶ エクステンションセンター 0568-51-4392(直通)
生涯学習に関すること	▶ 渉外課 0568-51-5250(直通)
中部大学音楽祭・キャンパスコンサートについて	▶ 入学センター事務局 ※入試情報ホットライン 0120-873941(直通)
入学試験について	

## 中部大学公式ホームページ

<https://www.chubu.ac.jp/>



中部大学の最新情報はホームページでご確認いただけます。学部学科、キャリア情報、中部大学公式フェイスブック、学長ブログ等もこちらからアクセスしてください。

## 後援会サイト

<https://www3.chubu.ac.jp/koenkai/>



後援会の公式サイトでは、保護者の皆様へ向けた新着情報のほか、後援会報「信頼」のバックナンバーも掲載しています。ぜひご覧ください。

### アンケートご協力をお願い

中部大学後援会会報「信頼」Vol.66はいかがでしたでしょうか。「信頼」に関する皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートにご回答いただいた方にはもちろん中部大学オリジナルグッズを差し上げます。おひとり様1回のご応募とさせていただきます。(応募締切…2020年12月31日) アンケート内容等、詳しくはQRコード先のページをご確認ください。



### 住所変更について

住居移転、町名変更などにより住所が変更された場合は、学生支援課へ「保証人氏名・住所等変更届」をご提出くださいますようお願いいたします。